

用語の説明

ア行

I o T (Internet of Things)

日本語では「モノのインターネット」と訳され、「様々な物がインターネットにつながること」「インターネットにつながる様々な物」を指す。

I Tリテラシー

業務効率化のためにコンピュータを使いこなすスキルやインターネットを利用する上でのモラル等。

AR (Augmented Reality)

拡張現実。現実世界に、コンピュータで作った文字や映像等のデジタル情報等を重ね合わせて表示することができる技術。

O J T [on the job training]

日常の業務につきながら行われる教育訓練・研修。

O F F - J T [off the job training]

通常の業務を一時的に離れて行われる教育訓練・研修。

カ行

かごしま子供・若者総合相談センター

子ども・若者育成支援推進法に基づき県により設置された、子ども・若者（概ね30歳台まで）の様々な悩み事に対応するワンストップ相談窓口。状況に応じて、支援する公的機関や民間団体を紹介するなどの情報提供を行っている。

キャリアコンサルティング

労働者の職業の選択、職業生活設計又は職業能力の開発及び向上に関する相談に応じ、助言及び指導を行うこと。

キャリアコンサルタント

就職を希望する人に対して、さまざまな相談支援を行う専門職。主な業務は、就職希望者が自らの適性、能力、経験などに応じて職業生活を設計して効果的に職業選択や職業能力開発を行うことができるよう、個別に相談を行うこと。

公共職業能力開発施設

職業能力開発促進法に基づき国、都道府県、市町村、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が職業訓練を行うために設置している施設をいい、本県の公共職業能力開発施設は、県立の高等技術専門校が4校（吹上、宮之城、始良、鹿屋）、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構立の職業能力開発促進センターが1か所（鹿児島）及び職業能力開発短期大学校1校（薩摩川内）、国立県営の障害者職業能力開発校1校（薩摩川内）がある。

サ行

在職者訓練

県立高等技術専門校や職業能力開発促進センター、職業能力開発短期大学校において、事業所の従業員等（在職者）を対象にして行われる、職業に必要な専門的な知識及び技能の習得を目的とする公共職業訓練。

さつまの名匠

技能士の知識・技能の向上と本県技能の振興及びレベルアップを図ることを目的に、熟練技能士（特級、一級及び単一等級の技能士）が参加する技能グランプリ全国大会で金賞を受賞した者を「さつまの名匠」として認定し、顕彰する本県独自の制度。

同大会で銀賞又は銅賞を受賞した者を「さつまの匠」として認定している。

就職氷河期世代

平成5年頃～平成17年頃の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代のこと。

ジョブ・カード制度

個人のキャリアアップや、多様な人材の円滑な就職等を促進することを目的として、対象者の職務経歴や免許・資格などを「ジョブ・カード」と呼ばれる書類にとりまとめることで、生涯を通じたキャリア・プランニング及び職業能力証明のツールとして、キャリアコンサルティング等の相談支援のもと、求職活動、職業能力開発などの各場面において活用する制度。

生産年齢人口

生産活動に就き得る年齢にある人口全体を示す。我が国では義務教育の年限の関係上、総人口中の15歳以上65歳未満人口の全員としている。したがって、就業の意志のない者も、学業等のために就業不可能の者まで含んでいる。

セルフ・キャリアドック

企業がその人材育成ビジョン・方針に基づき、キャリアコンサルティング面談と多様なキャリア研修などを組み合わせて、体系的・定期的に従業員の支援を実施し、従業員の主体的なキャリア形成を促進・支援する総合的な取組、またはそのための仕組みのこと。

夕行

地域若者サポートステーション

ニート等の若者の職業的自立を支援するため、一人ひとりの課題に応じた専門的な相談、コミュニケーションスキルアップのためのグループワーク、職場体験、保護者相談、地域のネットワーク機関と連携した支援を行う目的で全国に設置された相談窓口。

デジタルトランスフォーメーション（DX）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズをもちに、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

ナ行

日本版デュアルシステム

若年者や職業能力形成機会に恵まれなかった者を対象に、企業実習又はOJTと、これに密接に関連した教育訓練機関におけるOFF-JTを組合せて実施し、修了時に能力評価を行う訓練制度。

ハ行

VR (Virtual Reality)

仮想現実。CGで作られた世界や360度動画等の実写映像を「あたかもその場所に居るかのような没入感」で味わうことができる技術。

非正規雇用労働者

有期契約労働者（期間の定めのある雇用の労働者）、派遣労働者（派遣法に基づく派遣により派遣先で就労する労働者）、パートタイム労働者（1週間の所定労働時間が通常の労働者の1週間の所定労働時間に比べて短い労働者）などのうち、1つ以上に該当する労働者の雇用形態を総称する用語。

マ行

ものづくりマイスター

ものづくり分野で1級技能士相当以上の指導経験豊富な熟練技能者で「ものづくりマイスター」として認定・登録された者。技能競技大会の競技課題などを活用し、中小企業や学校などで若年技能者への実践的な技術指導を行い、効果的な技能の継承等を行っている。

ヤ行

有効求人倍率

公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもので、景気動向を見るために作成される景気動向指数のひとつである。

月間有効求人数：先月から繰り越した求人数に、当月新たに発生した求人数を合計したもの。

月間有効求職者数：先月から繰り越した求職者数に、当月新たに発生した求職者数を合計したもの。

ラ行

労働市場インフラ

雇用のセーフティネットとしての公的職業訓練、労働者の職業能力の証明・評価のツール等の、求職者の就職活動や企業の採用活動を支援するシステム・制度等のこと。

労働力人口

15歳以上人口中、労働力調査期間（毎月末日に終わる1週間）において、収入を伴う仕事を1時間以上した者及び休業中の就業者と完全失業者を合わせたものをいう。これに対して、労働力人口以外の者を非労働力人口という。

ワ行

若者就職サポートセンター

若年者が気軽に立ち寄り、ホームページ等を活用した就職に関する情報提供、アドバイザーによるキャリアコンサルティング、若年者のための求職活動支援セミナー等や併設するハローワークによる職業紹介等の様々なサービスをワンストップで受けられる施設。